



7 気になる眼鏡情報 LOVE GLASSES

CONTENTS  
Vol.55

MODE  
OPTIQUE

### 13 栗山英樹さんスペシャルインタビュー

「眼鏡は顔を作るもの。僕にとって重要なアイテムです」

### 16 関ジャニ∞ 安田章大さん

「青いメガネは僕のカラダ」

30 リンドバーグ、色を楽しむ

kearny熊谷富士喜さん自宅拝見

### 36 めがねデザイナーのアイデア帳



Cover Design

Base

Cover Photo

Masahiro Sambe

©WORLD PHOTO PRESS

2023 (禁・無断転載)

令和5年7月20日発行

●今号で掲載している眼鏡フレーム・サングラスに関する問い合わせは、126ページの【メーカー&ショップ問い合わせ先リスト】をご覧ください。

●掲載されている商品の価格は、2023年5月現在の調べによるものです。また基本的に消費税(10%)を含んだ税込み価格の表示です。

## 49 特集 そうだ眼鏡屋行こう。

50 オーナーの個性が光る昨今のショップの共通点とは

54 眼鏡メーカーのおすすめコメント付き「このショップ、良いんですよ〜」part1

58 めがねとファッションコーディネート

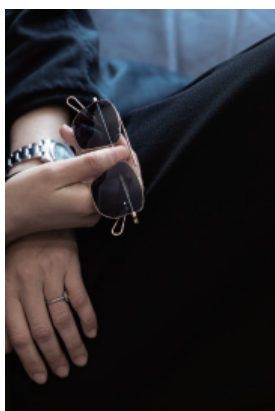
59 レンズメーカーが考える見え心地を売るお店

60 眼鏡と○○

眼鏡とカフェ、眼鏡と香水、眼鏡と雑貨、眼鏡と文具、

眼鏡と絵画、眼鏡と洋服、眼鏡と帽子、眼鏡とゲーム&アニメ





- 64 魅力たっぷりブランドショップ
- 68 眼鏡は人で買う！ オーダー眼鏡
- 70 専門性が高いヴィンテージアイウェアショップ
- 72 こどもめがね専門店続々オープン！
- 73 めがねとファッションコーディネート
- 74 私のお気に入りの眼鏡屋さん
- 76 眼鏡メーカーのおすすめコメント付き「このショップ、良いんですよ〜」part2

## 81 眼鏡デザイナー来日 日本の滞在はいかがでしたか？

## 86 トレンドフレーム4つのキーワード ①ビッグシェイプ ②グリーン ③ナロー ④ニューフォックス

## 94 新型デザインに釘づけ この眼鏡が素敵だ！

## 103 モード・オブ・ティーク2023 EDITOR'S PICK UP

## 114 新作紹介 JUST WEAR IT!

- 126 メーカー&ショップ問い合わせ先リスト
- 127 バックナンバー



栗山英樹さんスペシャルインタビュー

**眼鏡は顔を作るもの。  
僕にとって重要なアイテムです。**

14年ぶりの日本一に輝いた、野球日本代表。その指揮を執った栗山英樹さんへのインタビューが実現！ 愛用する眼鏡にこめられた想いとは？

Photo/藤田一浩 Kazuhiro Fujita Text/伊藤美玲 Mirei Ito



安田さんがデザインを手掛けた、GROOVER×SHOTA YASUDA「i」。クラウンパントをベースにブルーレンズとのマッチングを意識したデザインで、幅広いスタイルに馴染むバランスを追求している。(抽選販売の申し込み受け付け期間は終了)。

関ジャニ∞ 安田章大さん

## 「青いメガネは僕のカラダ」

アイウェアブランド「GROOVER」とコラボレーションし自身がデザインしたサングラスを発表した安田章大さん。「青いメガネは僕のカラダ」。そう語る安田さんがこのサングラスを通して、伝えたい想いとは。

Photo/三部正博 Masahiro Sambe Styling/袴田能生 Yoshio Hakamada  
Hair & Make/山崎陽子 Yoko Yamasaki Text/伊藤美玲 Mirei Ito





kearny 熊谷富士喜 さんの自宅訪問

## めがねデザイナーのアイデア帳

ファッションistaからの支持も厚い「カーニー」の熊谷さんがデザインする眼鏡は、  
一見フツウに見えてフツウじゃない、どこか眼を惹く不思議な魅力に溢れている。  
アイデアの源泉はどこにあるのか？ ご自宅を訪ねて聞いた。

Photo/三部正博 Masahiro Sambe Text/秦 大輔 Daisuke Hata





着用  
YUICHI  
TOYAMA.

着用  
MIKITA



(左)スタッフ OSANAIさん  
(右)ディレクター TOMINAGAさん  
ユニフォームは台東区のテーラー謹製。

コミュニケーションを軸にした眼鏡と香水の専門店



〒東京都江東区森下4-19-12 ☎03-5829-9808  
営業12:00~20:00 ㊿不定休  
オープン:2022年12月

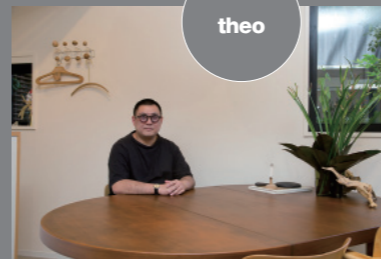
## Atelier Macri アトリエ マクリ

今の時代だからこそ、対面のコミュニケーションを大切にしたい。そんな想いから、リアルな体験を伴う接客が軸となる眼鏡と香水をセレクト。空間演出、インテリアのスタイリングというバックグラウンドをもつ Atelier Macri独自の提案は、眼鏡選びにおいても新しいスタイルの発見を後押ししてくれる。二俣公一主宰のCASE-REALが内装を手がけたショップ内にはギャラリーも併設されている。

取扱ブランド  
YUICHI TOYAMA., MYKITA,  
YELLOWS PLUS,  
MASAHIROMARUYAMA,  
ayame. BLANC,  
HAFFMANS NEUMEISTER etc.



着用  
theo



オーナー 宮川佑介さん  
ヴィンテージアイウェアにも精通している。



取扱ブランド  
guépard, YUICHI TOYAMA.,  
Lunetta BADA, theo,  
FREDERIC BEAUSOLEIL,  
RIGARDS, Vintage etc.

〒東京都世田谷区羽根木  
1丁目21-3  
☎050-1807-2015  
営業12:00~19:00  
㊿月曜、火曜  
オープン:2022年12月

## 緑青

ログショウ

緑に囲まれた集合住宅群の一角にある「緑青」。インテリアにも造詣が深い宮川さんが揃えたデイベッドなどの家具にフレームが並び、店内には穏やかな時間が流れる。「緑青は経年の美しさ。眼鏡は使い込むほど顔に馴染んでいくし、お客さまとの関係も長く築いていきたいと思っています」

店主のセンスが細部まで貫かれた心地よい空間



# 眼鏡ライター伊藤美玲さんと探した オーナーの個性が光る

今回の取材では、ここ数年のうちに都内にオープンした店舗を巡った。10年以上前の店舗取材といえは、都心の人通りの多い場所を訪れることがほとんどだった。そして記事に書くことと書けば、立地の良さや扱っているフレームの量の多さなど、利便性にフォーカスしていたことが多かったように思う。  
あれから、私たちは震災や新型ウイルスなど大きくマインドが変

# 昨今のショップの共通点とは

化する出来事に直面した。そしてSNSはこの10年の間にとってもない勢いで普及し、気になるモノやコトを能動的にハッシュタグで検索するのが当たり前の日常となった。今回の取材で感じた変化は、これらのことと無関係ではないだろう。訪れた店の多くは、住宅地のなかに佇んでいたりと、ビルの3階に位置していたり、いわゆる「立地がいい」とは言い難い場所にある。だがそこには、いずれも穏やかな時間が流れていた。店内はオーナーの好みを反映したインテリアがセンスよく配置され、さらには香りや音楽なども心地よく作用

近年、アイウェアショップのオープンが続いている。各店の紹介とともに、セレクト全盛と言われたときは少々趣きが異なる、「今のショップの在り方」について考えてみた。

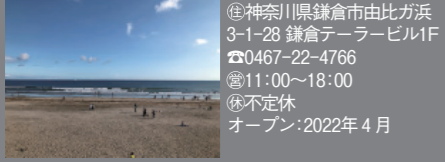
Photo/青木健銘 Takenori Aoki (WPP) Text/伊藤美玲 Mirei Ito



## Neu

店名は「新しい」の意。売れ筋やトレンドに固執しない品揃えで、KameManNenは約400以上近く取り揃える。「見えないというネガティブな気持ちを、見える喜び、掛ける楽しさに変えてあげたい」と園田さん。由比が浜のほど近くなので、帰りには海辺を散歩するのもいい。

着用  
Kame  
ManNen



取扱ブランド  
Jacques Durand, OSCAR MAGNUSON,  
Jean Philippe Joly, KameManNen,  
MATSUDA, RIGARDS etc.

海風が心地よい鎌倉で新しい自分に出会う眼鏡を



着用  
YUICHI  
TOYAMA.



代表 中村圭佑さん  
お店のある須坂市は中村さんの地元だそう。

## 眼鏡店 鶯

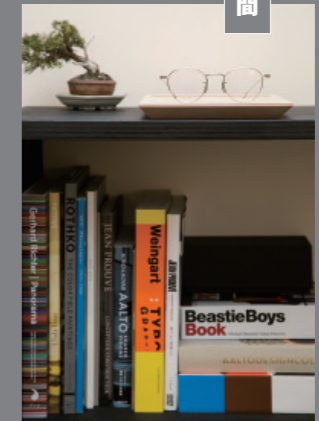
メガネテン ツグミ

1905年より残り続ける民家で新しい眼鏡と生活を提案。「古いものを大切にできる文化を眼鏡店と共鳴させ、永く愛用できる良い物を提供したいと思った」と、代表の中村さん。傾聴を重視した接客で、用途や生活スタイルに合わせた視え方、魅せ方、快適さを提案してくれる。



〒長野県須坂市中町230西一階  
☎026-405-4724  
営業12:00~18:30(月火木土)、  
12:00~17:30(日 1,3,5週目)  
㊿水・金・日(2,4週目)定休  
オープン:2021年5月

取扱ブランド  
AHLEM, Arumamika, BLANC, E5 eyevan, JULIUS TART  
OPTICAL, Lesca LUNETIER, Lunetta BADA, propo etc.



着用  
EYEVAN

取扱ブランド  
EYEVAN, ayame,  
MYKITA,  
Mr. Gentleman,  
MASAHIROMARUYAMA,  
CUTLER AND GROSS,  
Eyevol etc.



店長 長安 崇さん  
趣味の釣りではタレックスのレンズを愛用。

## 長安眼鏡店

ナガヤスガンキョウテン

海まで5m。瀬戸内海を窓から臨む抜群のロケーションを誇る。オーナーは一級眼鏡作製技能士の資格をもち、長く安心して使える眼鏡を提供するのがモットー。眼と眼鏡に対して新しい発見や感動があるような接客も魅力で、サービスのコーヒーを飲みながらじっくり納得のいく眼鏡選びができる。

日本で一番海に近いアイウェアショップ



〒香川県高松市浜ノ町  
49-20 LIVLOV2F-A  
☎087-887-1642  
営業11:00~19:00  
㊿火曜・第三水曜定休  
オープン:2022年12月

キャットアイ気味のウェリントン。マットなカシスカラーの深みのある彩りがあか抜けた目元を演出する。天地幅の深いビッグシェイプでも軽やか&柔らかな掛け心地が得られるのは同ブランドならではの。  
[Lynn Col.Cassis Matt] 価格7万1500円@アイシーベルリン ジャパン

ic! berlin



tarian



内径と外径のラインに変化をつけることで、エッジの効いた直線的なフォルムが際立つ仕上がりに。重たさを感じさせず、モダンな佇まいにまとめる手腕はさすがだ。チラリと覗くクリアピンクも効いている。  
[EAA051182] 価格6万6000円@トゥーランドット



YELLOW'S PLUS

上/硬派なハイブリッジのビッグシェイプながら、クリーンな白の長モダンにより品の良さも兼備。「RICK Col.6AB」 価格5万5000円、  
下/リムの周縁にはテンプルと同色のラインが施され、繊細な彩りを添える。「ZARA Col.6cs」 価格5万3900円@G.A.YELLOW'S



絶妙なバランス感が今の気分

# BIG SHAPE

今季は、メタルもプラスチックもビッグシェイプがとにかく豊富。なかには、顔幅からはみ出るくらい大きなものも。着こなしのアクセントとして、この絶妙なバランス感を楽しんで。

アイデンティティーである直線的ラインをバイカラーで



**HENAU**  
エノウ

ブランドの象徴的な直線のラインとぼってりとした絶妙な玉型が美しい。アヴァンギャルドにみえて上品さも兼ね添えているのはさすがだ。  
[MUCHA Col.585]  
価格5万9400円  
LDJロジスティクス

ほどよいボリュームとメタルの要素が上品なプロウタイプ。芯張り技法で内包されたメタル芯は枯山水をイメージした曲線模様が施され、senseの世界観を体現している。  
[JS-159 Col.02老緑]  
価格4万9500円  
Gロス銀座

テンプル部分に施されたメタル芯の装飾に注目



**JAPONISM sense**  
ジャボニスム センス

新型デザインに釘づけ  
**この眼鏡が素敵だ!**

2023年春の新型のなかから、蘊蓄ぬきにビビッときたフレームをピックアップ。いずれもデザイナーの顔が浮かぶ思わず二度見して手にしたものばかり。眼鏡、やっぱり素敵だ!

Photo/青木健格 Takenori Aoki (WPP)  
Text/モード・オプティーク編集部 MODE OPTIQUE

少しざらつきがあるようなシルバーの独特な質感。眼鏡では見たこともない無機質なこの質感を追い求めて1年以上の歳月を費やしたという。  
[IE019 Col.TIM]価格7万4800円  
オンリーグッドフォームス



見たことのないシルバーの無垢な質感がたまらない

**I.ENOMOTO**  
アイエノモト



**Published by**  
**WORLD PHOTO PRESS**  
Publisher of Mono magazine,  
World Wristwatch, Figure Oh,  
Mode Optique, and World Mook series.

**Head Office Location**  
Az-Asagaya, 1-12-1 Asagayaminami,  
Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan

**Editorial Department**  
Tel: 03 (6383) 2331  
Fax: 03 (6383) 2583

**Sales Department**  
Tel: 03 (6383) 2390  
Fax: 03 (6383) 2574

**Publisher**  
Kesaharu Imai

**Editor**  
Kaoruko Matsuzaki

**Staff Photographer**  
Tomoaki Tsuruda  
Takenori Aoki

**Designer**  
BASE

**Advertising Director**  
Kazuo Tsuboi

**Production Director**  
Shunsuke Ogawa

**Circulation Manager**  
Hiroshi Sasagawa

**DTP**  
BASE  
Nagi

**Print**  
Dai Nippon Printing Co., Ltd

ワールドフォトプレスの出版物は  
インターネットでもご注文いただけます。  
**monoshop.biz**

ワールドフォトプレス総合サイト  
「モノ・マガジンweb」  
**monomagazine.com**

WORLD **M**OOK

ワールド・ムック1299

# MODE OPTIQUE

モード・オプティーク

**Vol.55**



ガラス瓶とアアルトの棚と眼鏡。ショップ、緑青にて。

令和5年7月20日発行

発行人 ● 今井今朝春

編集人 ● 松崎薫子

発行所 ● 株式会社ワールドフォトプレス

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1 アズ阿佐ヶ谷

編集部 ● TEL 03(6383)2331 FAX 03(6383)2583

メディアビジネス部 ● 03(5929)7682 03(6304)9443

販売部 ● 03(6383)2390 03(6383)2574

印刷所 ● 大日本印刷株式会社

© WPP 2023(禁・無断転載)

● 造本には充分注意しておりますが、万一、落丁・乱本などの不良品がありましたら小社[販売部]宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。

● 本誌掲載記事の無断転載、複製、転写を禁じます。\*本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示です。\*本誌に掲載されている商品、価格、問い合わせ先は2023年5月現在の調べによるものです。